

ちゃんと かわら版 千歳



米菓の製造・販売を手掛ける岩塚製菓(本社・新潟県長岡市)の新しい直売店「岩塚製菓 北海道工場直営 ウタリちとせ」が5月1日、千歳市大和にオープン。9時45分から記念セレモニーが行われ、

岩塚製菓新直売所「ウタリちとせ」

開店を祝う多くの市民らでにぎわう

関係者がテープカットで開店を祝いました。その後、詰めかけた市民や観光客らが続々と来店し、人気米菓や北海道限定商品を買って帰りました。



セレモニーでは、同社の榎大介代表取締役社長が「我々は『お米となかよし』『地域となかよし』を念頭において、皆さまから愛されるお店づくりを進めていきたいと思います。」と挨拶しました。

同店は、アイヌ語で「なかま、なかよし」を意味する「ウタリ」を店名に冠し、工場直送の米菓を販売。千歳市富丘の旧直営店が駐車場5台分と手狭だったため、観光地・支笏湖に向かう道道沿いへの移転を決断。新店舗の面積は旧店舗の2倍で、駐車スペースも広く確保しました。

「お米となかよし」といった箱買い商品を購入して帰路に着きました。

旧直営店時代から、同社製品に愛着があると話す鈴木修さん(74歳、白樺6)は「以前の店よりも売り場が広くなり、品ぞろえも良くなって買い物がしやすくなりました」と満面の笑顔。「味しらすべい」といった箱買い商品を購入して帰路に着きました。

(編集部 伊藤)

千歳署と千歳防犯協会は5月1日までに、今年4月に市内の全小学校に入学した新1年生792人(4月10日現在)を対象に、防犯意識を高めてもらうための啓発グッズを配布しました。4月30



千歳署・防犯協会が啓発グッズ贈呈 新1年生が防犯の心構えなどを学ぶ

新入学児童に贈られたのは、鉛筆や消しゴムなど勉強に不可欠な文具セットと、防犯の合言葉「いかのおすし」がプリントされた特製のクリアファイルです。①知らない人について「いか」ない②知らない人の車に「の」らない③「お」おきな声で

日には信濃小学校(信濃2、遠藤光郎校長)で贈呈式が行われ、新1年生2クラス53人が参加。千歳署生活安全課の警察官による安全講話や、千歳防犯協会からの防犯文具贈呈を通して、身を守る心構えを学びました。

同校体育館での贈呈式では、冒頭で千歳署生活安全課の警察官による防犯講話を実施。「不審者から身を守るためには、大きな音を出すことが効果的です。いざという時のためにホイッスルや防犯ブザーを用意しておく」と児童らに呼びかけました。また千歳防犯協会の瀧澤順久会長から児童代表2人に防犯文具がプレゼントされました。

「さけぶ、④「す」くにげる、⑤家の人や先生に「し」らせる」の約束事が紹介されています。



「た」と大きな声で感謝の言葉が贈られ、出席者に笑顔が広がっていました。遠藤校長は「警察の方や防犯協会の方に指導していただき、身近にある心配事や危険などについて学ぶことができた」と指導の成果に期待していました。

(編集部 伊藤)

千歳在住の写真愛好家10人で活動する千歳写友会佐々木保彦代表の作品展「千歳写友会写真展2024」が5月1日から、千歳市役所1階市民ホール棟で開催されています。会員一人ひとりが空自の戦闘機や野鳥、動物、風景、イベントの様相などテーマを掲げて、これまでに撮影した力作計40点を展示。多くの来庁者の目を引き付けています。作品展示は5月20日(月)までです。



「千歳写友会写真展2024」開催 会員の力作が市民の目を楽しませる



作品展示のため、初日に会場を訪れた佐々木代表は「来年度の35周年に向けて、会員一同さらに技術の研さんに努める所存です。ぜひ多くの皆さんに作品を見ていただければ」と来場を呼び掛けていました。観覧は市役所の開庁時間に合わせて9時~17時(最終日は15時)まで。土・日曜日と祝日は休みとなります。

(編集部 伊藤)

披露した旭川の「北の大地」チームを写した「最後の演舞(佐々木代表)や、F-15戦闘機がアフターバーナーの赤い炎とともに離陸するタイミングを捉えた「Take off」(角張隆正さん)など、会員の豊かな個性や力感あふれる作品がずらりと展示。市役所を訪れた多くの市民らが足を止めてじっくり眺める光景も見られました。

生活が楽しくなる DIY+



▲「思い出のBBQテーブル」長い間風雨にさらされていたので、天板の損傷が激しく形が崩れていました。▶天板をスライドすると補助テーブルとして使えます。※天板(カフェ板)の側面の凹凸を利用して外れないように工夫しておきます。

『思い出のBBQテーブル』のリニューアル…その1

★知り合いの奥様から、ご主人が生前にお孫さん達と作られた『思い出のBBQテーブル』をリメイクして欲しいとのご依頼でした。元材の傷んだ部分をカットして組み直すと全体的に小さくなってしまったため、結局リニューアルすることにしました。しかしながら『思い出』を越えなければなりません。ここは自分の腕の見せ所です。木材は自在に加工できますが、用途に見合った金具はほぼありません。ならば加工して作っちゃいましょう。

★さて『思い出のBBQテーブル』の行方は如何に…To be continued

【使った材料】カフェ板(杉材)3枚、ひのき板6枚※1、1×4材1本、2×4材4本、2×4作業用ブラケット※2、保護塗料(マホガニー)、金具各種(ワイヤーネット、丈夫な金折、スチール・アルミアングル、足止め※3、木ネジ、その他) +心遣い!

【※1】『6枚ひのきのこ』をバラします。【※2】ブラケットは軸を抜き2セットを4個に分解します。【※3】ドアストッパーを逆さにして蹄鉄のように脚に固定します。

【制作ポイント】①BBQコンロをテーブルセンターに組込む構造を考える。②天板をスライド式にしてBBQコンロを収納するための工夫。③折りたたみ式の脚(2×4)を固定する金具の工夫。④それぞれの木の脚が地面に直接触れない方法。※2×4用の脚カバーは販売されています。

★私のDIY座右の銘:『自分がして欲しいと思う以上のことを他の人にも行なう』



▲作業用ブラケットは、それぞれ本体側にあらかじめ付けた金折にボルト、スプリングワッシャーで固定します。



▲脚はH型にしっかり連結して、歪み無く同時に動くように調整します。

